

岩手で園芸療法体験会

淡路景観園芸学校が実施

11～14日

花と緑で東日本大震災
の被災者の心を癒やそう

と、県立淡路景観園芸学
校(淡路市)が11～14日、
岩手県で園芸療法体験研
修会を催す。養護教諭や
保健師らを対象に、ハー
ブでリラックスする方法
などを教える。同校は「被
災者に潤いのある生活を
取り戻してもらえれば」
と意気込む。

園芸療法は、植栽など
植物との触れ合いを通
じ、ストレスを減らした
り、自信や意欲を取り戻
したりする取り組み。

同校の教員や学生ら19
人が今月4～6日、宮城
県石巻市と南三陸町の仮
設住宅で、住民たちと一
緒にパンジーなどの花の
苗約420株を植える支
援活動に取り組んだ。

研修会は同校の教員ら
3人が4会場で開催。各
70～80人に、ハーブを入
れたお湯で手を温める
「ハーブ手浴」や、土の
人形に芝を植えた芝人形
などを教える。さらに講
義を聞き、ストレスの症
状と、植物のケア効果を
紹介。参加者と意見交換
もする。

同校は「復興の歩みには心のケアが欠かせない。参加者が各地で園芸療法を伝え、被災地に緑を広げてほしい」としている。
(本田純一)

平成26年9月7日(水)
神戸新聞 夕刊
22頁 ひょうご版